

みる

news from
Yotsukaido
city council

No.223

ギカイ

四街道市議会だより / 令和8年 / 6月定例会

<https://www.city.yotsukaido.chiba.jp/shigikai/>



市議会 HP



いよいよ 8月22・23日はふるさとまつり!! 皆様、お楽しみに! ご来場をお待ちしております!!



特集 民生委員・児童委員へのインタビュー



インタビュー：令和8年7月7日実施

【民生委員とは】

民生委員は、地域の身近な相談相手として、高齢者の見守りや子育て家庭の支援、行政と住民をつなぐ非常勤の特別職地方公務員です。



民生委員・児童委員

各地区に配置され、児童福祉に関することを専門的に担当する主任児童委員とともに広く地域社会に貢献していただいています。

あなたの身近な相談相手 民生委員・児童委員の素顔

市民の身近な相談相手として活動する民生委員・児童委員。普段どのような思いで地域と向き合っているのでしょうか。広報広聴特別委員会では、会長をはじめ理事の皆さんに、活動への思いや印象に残った出来事を伺いました。

Q：活動の不安はありますか

「時代とともに変わる活動、孤独を防ぐ絆。委員の活動は多様化しています。」

「昔は『世話好きなおじさん・おばさん』でしたが、今は責任を負えないことまで求められる場面もあり、戸惑うことがあります。」という率直な声もありました。それでも「定例会で事例を共有し、絶対に一人で抱え込まないように。」と、委員同士が支え合う体制があります。

Q：子どもへの対応は

「子どものSOSに気づく児童委員として、子どもたちを見守るのも重要な役割です。登校時の何気ない声かけから、ヤングケアラーの状況に気づき、学校につないだ事例もありました。

日常のふれあいの中で、表には見えにくいSOSをすくい上げています。」

Q：活動の原動力は何ですか

「原動力は、皆様の笑顔。重責の中でも活動を続ける一番の力は、地域からの感謝です。」

「90歳のお祝いを届けた際に見せてくれた笑顔が忘れられません。」

「『いてくれるだけで嬉しい』と言われた。」日々のささやかなやり取りが委員の皆さんの背中を押しています。

Q：市民に伝えたいことは

「地域のなかで、まずは『こんにちは』と周りに声を掛けてみませんか。身近なつながりが、安心して暮らせる地域づくりにつながります。」

Q：未来の民生委員・児童委員へ

「今までの社会経験を生かし、自分のペースで始められる活動です。会社勤めのうちから地域に関わるのが、将来の豊かな暮らしにもつながります。」と朗らかに語ってくれました。

民生委員の活動に関心のある方、ご相談のある方は社会福祉課（043-421-6121）までお気軽にご連絡をお願いします。

主な議案の概要及び委員会審査概要

第2回（6月）定例会では、令和8年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、専決処分の承認、条例の改正など13件の議案審議や議決が行われました。

主な議案と委員会での審査内容は次のとおりです。（議決結果一覧は6ページに掲載）



上程議案・議決結果

総務常任委員会

議案第4号

四街道市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について

全員賛成

四街道市障害者日常生活用具給付等規則の一部改正に伴い、引用している用語等を改正するもの。

質 四街道市障害者日常生活用具給付等規則を引用している部分について、当該規則の名称及び条文の改正に伴い改正するとのことだが、「給付等」の「等」は具体的に何を指すのか。

答 四街道市障害者日常生活用具給付等規則では、用具の給付及び貸与を行っていたが、今回の改正で用具の貸与を取りやめたため、「給付等」の「等」が外れたものである。

議案第9号

財産の取得について

全員賛成

購入から約15年経過し老朽化した災害対応特殊救急自動車を更新するもの。

質 災害対応特殊救急自動車の購入契約について、一般競争入札により落札者が決定したとのことだが、予定価格と落札金額の大幅な差額の要因について、どのように捉えているか。

答 主に、入札効果によるものと認識している。

議案第11号

令和8年度四街道市一般会計補正予算（第2号）

全員賛成

歳入歳出それぞれ1億5,475万1千円を追加し、361億1,894万5千円とするもの。

質 区・自治会活動推進事業のコミュニティ助成事業補助金250万円の増額について、和良比西自治会の太鼓購入に対して助成するものとのことだが、詳細な説明を。

答 コミュニティ助成事業については、区・自治会が行う備品の購入や設備機器の修理等、コミュニティ活動の促進につながるものを対象に、一般財団法人自治総合センターから助成金が交付される。助成金の範囲は100万円から250万円までであり、事業費に対して10分の10助成されるものである。今回、購入費用250万4,480円に対して、上限の250万円を助成するものである。

質 消防総務業務運営事業の消耗品費953万5千円の増額について、当初見込んでいた金額よりも値上がりした金額か。

答 令和9年度に新規採用予定の消防職員10名分の被服等購入に要する費用である。

質 都市公園・緑地維持管理事業の都市公園維持工事 1,170 万 4 千円の増額について、わらび近隣公園ほか 4 公園の遊具において、使用禁止となっている状況を早期に改善するため、補正計上することのことが、詳細な説明を。

答 専門技術者による定期点検を実施したところ、鉄部の腐食が激しいため、使用禁止としており、わらび近隣公園は複合遊具、四街道第 1 児童公園は平均台、桜ヶ丘第 2 幼児公園はすべり台、つくし座第 3 幼児公園及び物井第 1 公園は大型 2 連ブランコについて、更新などを予定している。



わらび近隣公園複合遊具



桜ヶ丘第 2 幼児公園すべり台



つくし座第 3 幼児公園大型 2 連ブランコ



物井第 1 公園大型 2 連ブランコ

議案第 10 号 損害賠償の額を定め和解することについて

全員賛成

四街道市立中央保育所で起きた誤嚥事故の訴訟に係る損害賠償の額を定め和解するもの。

質 中央保育所で起きた誤嚥事故について、全額が全国市長会学校災害賠償補償保険により直接相手方に支払われるとのことだが、民間の全保育所も、これに類似する保険に加入しているとの理解でよろしいか。

答 民間の保育所に関しても危機管理の観点から、また、監査の指導項目の中に含まれていたものと記憶しており、保育保険に加入しているものと認識している。

（※平成29年に市立中央保育所で発生した入所児童の誤嚥事故に係る訴訟につきましては、本市の上告受理申立に対し、最高裁判所から令和8年1月28日付けで、民事訴訟法第318条第1項により受理すべきものと認められない旨の通知がありました。これに伴い、高等裁判所の判決が確定しました。）

議案第 11 号 令和8年度四街道市一般会計補正予算（第2号）

全員賛成

質 最高裁判決に係る生活保護追加給付事務事業727万円の増額について、平成25年生活扶助基準改定に関する令和7年6月27日の最高裁判決を踏まえた生活保護費の追加給付に要する事務的経費を計上するものであるとのことだが、市専用のコールセンターを設置する予定はあるのか。

答 追加給付の経緯や制度に対する質問及び相談については、国が設置した追加給付相談センターが利用可能である。また、追加給付の対象となるか等、具体的な相談については、生活保護の受給歴等、個人情報を取り扱うため、民間のコールセンターでは対応できないと考え、職員で対応することとした。

質 病児・病後児保育事業委託料681万1千円の減額について、昨年度まで同事業を運営していた事業者の撤退に伴い、プロポーザル方式により新たな事業者を選定する予定とのことだが、条件は変更しているのか。

答 仕様上、かつては1日当たり利用定員病児3人、病後児3人の体制で行っていたが、近年の利用状況を鑑み、病児と病後児を一体的に3人とした条件に変更している。

質 学校体育振興事業のプール使用料488万7千円の増額について、当初予定していた千葉田園スイミングクラブが利用できなくなったため、他の施設へ変更したとのことだが、詳細な説明を。

答 臼井スイミングクラブと都賀スポーツセンターに変更した。千葉田園スイミングクラブでは自社のバスを使用しており、また徒歩で通えている学校もあったが、今回の変更では、自社以外のバスを借りることも増額理由の一つとなっている。

令和8年第2回(6月)定例会 議決結果一覧

○：賛成 ×：反対 欠：欠席

－：議長は本会議の採決には加わりません

※可否同数の場合は議長が裁決します

○：賛成　×：反対　欠：欠席 －：議長は本会議の採決には加わりません ※可否同数の場合は議長が裁決します					芝 崎 剛 介	ふ じ わ ら ち か こ	加 藤 真 裕	六 田 喜 彦	大 谷 満 子	阿 部 百 合 子	宮 城 そ う い ち	飯 豊 明 久	石 井 幸 夫	岸 本 潤 一 郎	田 中 徳 彦	成 田 芳 律	長 谷 川 清 和	大 越 登 美 子	森 本 次 郎	坂 本 弘 毅	関 根 登 志 夫	西 塚 義 尊	戸 田 由 紀 子	石 山 健 作	
	付託委員会	議案 番号	件名	結果	掲 載 面																				
8 年 度 補 正 予 算	総 務 都 市 環 境 教 育 民 生	11	一般会計補正予算（第2号）	可決	3 4 5	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
	教 育 民 生	12	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	可決	－	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
	教 育 民 生	13	介護保険特別会計補正予算（第1号）	可決	－	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
条 例 の 一 部 改 正	総 務	1	専決処分の承認を求めることについて	承認	－	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
	総 務	2	専決処分の承認を求めることについて	承認	－	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
	教 育 民 生	3	専決処分の承認を求めることについて	承認	－	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
	総 務	4	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例	可決	3	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
	総 務	5	税条例	可決	－	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
	総 務	6	都市計画税条例	可決	－	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
	総 務	7	中小企業資金融資条例	可決	－	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
	教 育 民 生	8	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例等	可決	－	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○
契 約	総 務	9	財産の取得	可決	4	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	
そ の 他	教 育 民 生	10	損害賠償の額を定め和解することについて	可決	5	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	

とただ 問 い 質 す



一般質問

会議録は市議会ホームページの「会議録」(令和8年8月公開予定)または市立図書館、市役所本館2号棟1階の情報公開室にてご覧ください。



議会中継

第2回(6月)定例会では16人の議員による一般質問を行いました。詳細は市議会ホームページの「議会中継」から動画で視聴いただけます。



いづき
飯豊 明久

未来へ繋ぐ市政運営！ごみ広域化とA I 業務改革



録画映像

ごみ処理施設

問 広域化で他市の収集車が走行する際の交通安全対策、浸水想定区域内でのかさ上げの防災上の安全性、コスト試算の見解・検討状況は。

答 搬入出計画は、広域化の相手方が決定した後、自治体間で検討を進めていく。計画策定にあたり、周辺の道路状況に合わせたルート検討や特定の日時に収集車両が集中しないよう、できる限り周辺の交通環境や生活環境への影響が無いように検討する。現在のクリーンセンター及びその周辺を最終候補地と決定したわけではないが、かさ上げ等の浸水対策については、施設整備基本計画で検討していく。

問 3月の代表質問では八街市と引き続き協議していくとしていたが、現在の状況は。

答

八街市とは本市の状況を都度お伝えし情報連携を図っている。

職員の残業対策

問

最多残業時間が1,200時間超えの職員がいる中、業務調整の仕組み、安全配慮の状況は。

答

時間外勤務が月100時間を超えるなど一定の要件を満たす職員に対しては、健康管理確保のため、産業医による面接指導を実施している。また、所属長に対しては、業務の繁閑や職場の実態を把握するとともに、必要に応じて所属内で応援体制を構築するなど、業務が特定の職員や時期に集中しないよう、柔軟かつ効率的な業務運営を求めているところである。



チャレンジみらい
六田 喜彦

ごみ集積所の管理負担が偏っている現状について



録画映像

問

本市の避難所運営において「被災者の尊厳の確保」を目途とするスフィア基準は、参考に止めるのか、それとも今後の避難所整備の指針とするのか、その位置付けを伺う。

答

スフィア基準においては、トイレの確保、生活空間、入浴施設等に関し、避難所の質の向上のための数値目標が示されている。

目標として示されている以上、これを目指すべきであることは承知しているところであるが、現実的にこれらすべてをクリアするのは非常に困難な状況である。

したがって、本市としては、数値目標にとらわれるのではなく、スフィア基準の理念の本質である、被災者の人間らしく尊厳のある生活の確保を最大の目標に、被災者の声に耳を傾け、それぞれの場

所や状況に応じた支援を行うための取り組みを推進していく。

問

ごみの集積所は自治会への加入状況問わず公平に利用できるが、管理負担は自治会に偏っている現状をどう整理するのか伺う。

答

自治会未加入者に対する管理負担のあり方については、他自治体等の取り組み事例を参考にしながら、調査研究してまいりたい。

問

「花とみどり」をまちづくりの柱と位置づけることについて本市の見解を伺う。

答

「花とみどり」をまちづくりの柱とする具体的な計画やビジョンはないが、花が身近に感じられる環境づくりは、市民生活の質の向上に繋がるため、個々の事業を進めるなかで、花とみどりの普及に努めていく。



チャレンジみらい
森本 次郎

全ての人に選ばれる街に



録画映像

問

どんぐりの森に隣接する池は、地面が崩れ、フェンスも老朽化し、危険な状態。全国で水の事故が相次ぎ、早急な対策を図るべき。

答

現地確認の結果、フェンス下の一部の池の淵が浸食しているところが見られるため、危険回避のために立ち入り制限を行っている。さらなる確認のうえ、適切に対処する。

問

歴史民俗資料施設は、単なる通史の展示ではなく、旧石器時代からの歴史を活かし、人を呼び込む工夫をするべきではないか伺う。

答

施設の大幅なレイアウト変更は想定していないが、必要に応じて、展示資料の入れ替えを行ったり、定期的に企画展、特別展を開催する予定のほか、市民ギャラリーの活用も含めて、

創意工夫しながら四街道の歴史を展示していく。

問

国保83億円、介護77億円の予算規模を抑制し、高齢者の健康寿命を伸ばすためには、千葉市や船橋市のようなスポーツ施設のシニア割引を検討すべき。

答

総合公園等の施設などにおけるシニア割引の導入の検討はしていないが、今後、他の自治体の取り組みを研究し、考えていく必要があると認識している。





チャレンジみらい
岸本 潤一郎

老朽施設の更新・活用と農業振興で夢の再開発を



録画映像

問

新清掃工場を現在地横に早期に建替え、高額補修費を防ぎ、防災機能の避難所、ゴミ発電、温水プール、鹿島荘温浴施設復活、周囲の公園化で子どもから高齢者まで楽しめる町おこしとなる地域再開発はできないかを伺う。

答

現在のクリーンセンター及びその周辺を候補地の1つと考えているが、施設の場所も含め、ごみ処理の方向性は定まっていない。財政面や運用面で有利な広域化を前提に検討を進めている。候補地の選定や関連施設の検討は、広域化の枠組み決定後の広域化基本構想の策定の中で開始できると捉えている。

問

衰退する市の農業復興のため亀崎地区水田の圃場整備支援や新規就農者増加策を伺う。

答

圃場整備支援については、地域の意向に沿った国・県の補助制度等を情報収集し、利用の可能性を調査研究する。新規就農者増加策については、本市農業の魅力の発信や農業大学校での出前授業の受講者へ、本市の認定農業者の下での研修を働きかけ、将来の就農につなげる。

問

第3駐車場の消防庁舎建替への活用や第二庁舎跡地の官民連携による稼げる施設・行政サービス強化策を伺う。

答

土地の利活用は庁内横断組織である「四街道市公有財産利活用検討委員会」において効果的、効率的な利活用の方策を検討する。官民連携による市有財産の有効活用については、引き続き調査・研究を進め、総合的な観点から検討していく。



新政
戸田 由紀子

文化センターの運営協議にプロジェクトチームを



録画映像

問

文化センターには、新たに歴史民俗資料室やフリースペースが整備される。運営について市内の文化遺産に精通している市民や、放課後の居場所・学習スペースを利用する子どもや若者を交えた協議が必要では。例えば、プロジェクトチームについての見解を伺う。

答

大規模改修後の運営方法については、議員が提案するプロジェクトチームの設置も含め、指定管理者と協議を行う。

問

地域の拠点施設となる文化センターの所管部署はどこになるのか伺う。

答

現在は管財課の所管だが、「市民の文化及び教養の向上」を設置目的としていること及び大規模改修により市民ギャラリーと歴史民俗

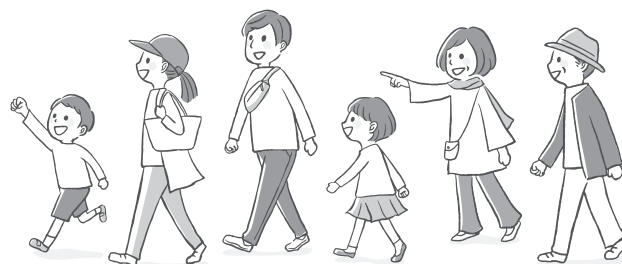
資料施設の集約を図ることから、今後の所管は文化振興等を所管する関係各課と協議を進める。

問

文化センターはどう変わるのか。市民への周知方法を伺う。

答

工事の進捗状況については市政だより及びホームページ等で適宜周知する。





公明党
大谷 満子

負担の大きい働き手の負担軽減のためには



録画映像

問 私立保育園ではおもちゃの消毒やエアコンのフィルターの掃除を保育助手が行っていると聞く。負担軽減のために補助が必要であると考えるが市の考えを伺う。

答 本市においては、保育士確保に向けた「保育士処遇改善事業」の補助額増額などの取り組みに注力しており、保育支援者に対する補助の実施には至っていない。補助事業の更なる拡充は、将来にわたって持続可能であることが求められるため、限られた予算の中で、慎重に検討する必要があるものと考えている。

問 森林整備に森林環境整備支援事業補助金を活用し皆で使える機器を購入し、所有者の負担軽減ができないか市の考えを伺う。

答 補助金での機器の購入については、市森林協議会を補助対象としている。管理を同協議会で行う必要があるが、市としては積極的に補助金を活用してほしいと考えている。

問 小中学校教員の負担軽減のためにも、除草作業の予算化が必要であると考えるが市の考えを伺う。

答 教員の負担軽減を目的とし、学校用務員業務委託において常駐用務員の派遣に加え、特別業務派遣を月1回実施している。この特別業務は、除草等、学校側が内容を自由に選択でき、既存契約の活用により、学校環境の維持に努めている。



公明党
田中 徳彦

子ども・福祉・道路維持補修について



録画映像

問 子どもの暴力行為の実態を正確に捉えるためには、件数だけでは不十分なので、学年別・学校別・暴力行為の種類別といった、より詳細な分析をどこまで行っているのか伺う。

答 暴力行為については、加害児童生徒の学校別、学年別、暴力行為の種類別、指導状況などを把握している。また、多くの場合、暴力行為が発生した段階で学校から教育委員会へ報告や相談があり、対応や関係機関との連携について指導・助言を行っている。

問 ひきこもり状態にある方の中には、いわゆる「支援につながらない層」が一定数存在するが、市としてどのようにアプローチしているのか伺う。

答 支援につながらない層に支援を届けるため、ふくしの総合相談窓口やくらしサポートセンター「みらい」では、支援会議で共有した情報をもとに、適切な支援先へ「つなぎ」を行い、また、アウトリーチ等による働きかけを行っている。働きかけを行う場合は本人や家族に対して継続的な伴走支援を心掛け、本人等から相談等をいただけるよう信頼関係の構築を図ることが第一であると考えている。

問 道路維持補修の過去3年間の予算額と執行率を伺う。

答 令和5年度が8,262万2千円、6年度が8千万円、7年度が7千万円であり、執行率は、いずれも99.9%である。



無会派
ふじわら ちかこ

市民の不安と市の取組みについて



録画映像

問 学校給食で使用している加工食品の添加物について、市独自に確認はしているか伺う。

答 添加物についての市独自の確認は行っていない。

問 超過死亡やワクチンとの関連について、市民の不安の声をどのように考えているか伺う。

答 ワクチン接種後の体調不良や健康被害等への不安があることは承知している。ワクチンにより救われる命がある中で、国が定期接種を推進していくのであれば、これをしっかり実施していくのは行政の役割である。ワクチン接種への懸念を持つ方の自由な意思は尊重しつつも、行政として果たすべきことを実施していく。

問 少子化対策は重要だが、不妊治療は負担が大きく、市は負担があることは認識しているのに、現在支援を行っていない理由は何か伺う。

答 不妊治療に関して悩みを抱えている方が多くいることは認識している。これまで市として十分な支援を実施できていなかったことには様々な要因があるが、県の補助事業である「千葉県妊活支援事業」を活用した助成事業の実施を検討しているところである。子どもを望む家庭が、希望をもって四街道市に暮らし、住みよさを高められるように取り組んでいく。



チャレンジみらい
石井 幸夫

活力あふれ、全ての人が住みやすい街に



録画映像

問 本市は産業集積の面では周辺自治体と比べ遅れている。持続的な税收確保と雇用創出の観点から産業用地の整備は重要である。そこで取り組み状況を伺う。

答 たかおの杜隣接地については、民間主体で企業立地が進んでいる。土地の取りまとめを行っている仲介業者からは、民間事業者に一団の土地として売却するために、各地権者との土地売買契約に基づく代金の支払い完了に向けて、手続きを行っているとしている。

今後、必要な支援を行えるよう、仲介業者に対し事業の進捗状況を定期的に確認する。

問 企業版ふるさと納税の実績を踏まえて増加策を伺う。

答 企業版ふるさと納税の増加策として、業務等で関係のある企業へ働きかけを行うほ

か、民間の仲介サービスを利用するなど、積極的に取り組んでいる。

問 点字ブロックは、視覚障害者の移動の安全確保に不可欠である。整備状況と今後の計画を伺う。

答 四街道駅自由通路の点字ブロックは整備済みだが、北口・南口の階段下一部に未敷設箇所があるため、今年度秋頃に整備する。物井駅は駅改札から自由通路を通り、外に至るまで敷設が完了している。

道路については、安全かつ円滑な移動のため、「千葉県視覚障害者福祉協議会」などの要望に基づき、整備を行っており、今後も利用者と協議のうえ、整備を進める考えである。



無会派
阿部 百合子

「住まいは人権」自治体の最優先の仕事です



録画映像

問

次期ごみ処理施設建設について、市はみそら自治会が総会で元の場所での建設に賛成と議決されたと認識しているようだが、みそら住民にとってその確認のやり方は十分であると受け止められているのか伺う。

答

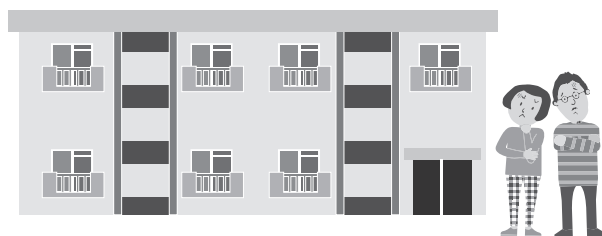
これまでも本市とみそら自治会は多くの協定等を締結してきた。協定を締結する際も自治会内の様々な考えがあるなか、最終的には自治会としてまとめた意見を基に協定等を締結してきた経緯がある。今回の改定も自治会役員の意思決定方法を確認しながら協議を進めており、自治会総会結果についてもこれまで同様、十分に尊重すべきものと考えている。

問

市営住宅の空きがあっても、内装工事が済んでいないとの理由で、すぐ入居できない実態があるが、なぜそのような対応となるのか、伺う。

答

年間10件前後の世帯が退去しており、多くの場合、そのままでは使用できず、改修工事が必要となる点や退去者による残置物の処置に苦慮している点などがある。より多くの方を案内できるよう、対応に努めている。



いづき
大越 登美子

千載一遇のチャンス、官民連携に期待



録画映像

問

鷹の台地区にある市有地の活用方針について伺う。

答

今後の普通財産の活用方針は、民間活力を有効に活用し、3,800㎡全体が一団の土地として利用されることで地域の価値向上や、にぎわいの創出につなげていくことである。

現状では、隣接しているナリタヤ鷹の台店に活用いただくことが第1の方針である。

消防用地は、地元自治会等の意見を伺いながら、消防本部・消防署庁舎の移転整備等の検討と併せて、活用を検討する。

問

鷹の台地区自治会主催の意見交換会において鈴木市長は、官民連携に触れている。長年活用が進まなかった市有地に関して、市長の見解を伺う。

答

当該地の活用は重要課題である。株式会社ナリタヤから当該地を一体的に活用し、店舗自体を大規模化して、これからの時代に持続可能なものとなるようチャレンジしたいという話をいただいた。当該地の活用が地域の方に資するものになればと考えている。地域住民の方も含めて協議をしっかり進める。

問

鷹の台住宅火災の事案に関して、吉岡・鷹の台地区の命と暮らしを守る安心、安全についての市の見解を伺う。

答

消防体制については、関係機関との連携をより一層強化し、消防体制を改善できるよう、実効性の高い取り組みを推進していく所存である。



チャレンジみらい
加藤 真裕

四街道の未来を見据えたまちづくり



録画映像

企業誘致と企業連携

問 たかおの杜隣接地を含めた新たな土地利用や企業誘致について、どのような産業を誘導し、どのようなまちづくりを目指すのか伺う。

答 たかおの杜隣接地を含むこのエリアでは、流通機能や商業業務機能、沿道サービス機能を有する企業等を誘致対象としており、市を代表する産業拠点になるものと考えている。

問 企業誘致を税収や雇用の確保にとどめず、立地企業との連携による地域活性化につなげていく考えはあるのか伺う。

答 これまでもまちづくりを民間企業と連携して、みんなで取り組めたと考えている。企業は我々の持っていないリソースを多く持ってい

るので、これからも一緒にまちづくりを進めるパートナーとして連携を図りたいと考えている。

駅前活性化

問 北口広場の「にぎわいの拠点」を目指す環境整備への考えを伺う。

答 市民が集えるみんなの広場として、四街道駅前の価値を高め、賑わいを創出するには、民間の創意工夫を活用した空間づくりがなくてはならないと考えており、「歩行者利便増進道路」が有効な制度になるが、制度の活用までに期間が必要なことから、小規模な環境整備は継続していく考えである。



新政
成田 芳律

時間税の削減



録画映像

問 おくやみコーナー設置の検討状況を伺う。

答 令和7年10月、おくやみコーナーを既に設置している印西市を視察し、現在、庁内関係各課による検討組織設置に向けた準備を進めているところである。今後は、この組織を通じて、令和9年度の開設・運用開始を目指し、本市の実情に即した設置場所や実施方法について検討する予定である。

税収増加策

問 現地決済型ふるさと納税の検討状況と導入の可否を伺う。

答 現地決済型は、寄附の増収に有効な手段と考えており、市内のゴルフ場でサービスの導入が可能か、調査・研究を進めている。

災害関連死ゼロを目指して

問 平時のうちに、被災から復興に向けた合意形成プロセスを定める、事前復興計画の策定についていかがか伺う。

答 大規模な被災からの復興については、単なる現状からの回復にとどまることなく、被災前よりも「災害に強いまち」を目指した復興都市づくりを行うことを基本的な考え方である旨、地域防災計画に示し、また、災害復興本部設置、復興計画の策定及び策定に係る所管部を定めるところである。

現状、本市を含め県内において事前復興計画を策定している自治体はないが、引き続き他の自治体の取り組みや、近く県より示される作成マニュアルについて、庁内において共有を図るとともに、調査研究をしていく。



チャレンジみらい
関根 登志夫

四街道市消防本部・消防署庁舎について



録画映像

昭和47年に建設された 四街道市消防本部・消防署庁舎

問 老朽化の状況を伺う。

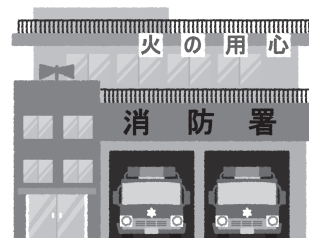
答 消防本部・消防署庁舎の老朽化の状況は、施設全体にわたり深刻な状況である。

空調設備や給湯設備の故障、污水配管の破断、雨漏りといった不具合が相次ぎ、日々の業務遂行にも支障をきたしている状況である。

建物が竣工した当時と比較すると人員増加や消防業務の高度化など、現在の消防需要に対応するために必要な施設機能が根本的に不足しており、消防活動を支える環境が不十分である。

問 今後の整備予定を伺う。

答 本年5月18日に締結した、耐震診断委託契約の耐震診断結果において、建物の耐震性能を示す「I s 値」が一定の基準を下回った場合には、消防庁舎整備に充当可能な「緊急防災・減災事業債」の活用が可能となることから、特定財源と一般財源を効果的に組み合わせ、財政負担を軽減しながら実現可能な施設整備を進める。



政 まつりごと
芝崎 剛介

新庁舎前モニュメント設置事業について



録画映像

問 新庁舎前に「YOTSUKAIDO」というモニュメントを設置することで、どのような効果を見込んでいるのか伺う。

答 数十年に一度となる新庁舎建設を記念した寄附銘板付きのサインモニュメントは、記念碑としての役割を持つほか、新庁舎のシンボルとして、市民や来庁される方に親しみを持っていただくとともに、写真スポットとして活用いただくことで、市のイメージアップや認知度向上の効果を期待している。

問 約1,457万円を投じることで、観光誘客、シティプロモーションといった成果指標を設定しているのか。またその効果をどのように検証するのか伺う。

答 本事業は、HAPPY SMILE PLANに定める重点プロジェクト「ふるさとを誇れる道」が目標とする、「四街道を好きと感じる人の割合」「四街道市をふるさとであると感じる児童生徒の割合」「観光入込客数」を成果指標とし、市長をトップとする総合計画推進本部会において評価を行う。





問 国は低出生体重児（リトルベビー）支援強化を自治体に求めているが、本市としてどのように受け止めているか伺う。

答 国の通知の趣旨を踏まえ、小さく生まれたお子さんが健やかに成長し、ご家族が安心して子育てできるよう取り組んでいる。具体的には、市の保健師等が赤ちゃん訪問連絡票提出時の面談や入院中のお子さんの経過を伺う電話、医療機関への訪問等で、ご両親の不安を受け止めつつ、退院後の生活に向けて支援し、退院後も医療機関等と連携しながら家庭訪問等を行う等、小さく生まれたお子さんの成長をともに確認し、ご両親に寄り添うことができるよう努めている。

問 低出生体重児を育てる母親に経済的な支援を開始した自治体があるが、本市でも取り

組んではどうか。

答 現時点で助成を実施する予定はないが、小さく生まれたお子さんを育てる家庭に様々な負担が続くことは認識しており、その負担を軽減するための支援策について、調査研究を進めていく。

問 子どもが自ら情報にアクセスできる環境整備に向けて、四街道市子どもホームページの開設を求めるが検討状況を伺う。

答 子どもホームページの開設については、子どもたちに行政情報等を分かりやすく伝えるための取り組みとして、近隣市における開設状況、コンテンツの内容、運用方法や課題などについて、情報収集を進めている。

市議会に要望（請願・陳情）を出すにはどうしたらいいの？



請願・陳情

請願と陳情は、市政などについて、市民の皆さんが直接市議会に要望ができる制度です。

請願は1名以上の紹介議員が必要で、陳情では紹介議員の必要はありません。

どちらも市議会へ提出する場合は、次の点にご留意ください。

- 書式は決まっていますが、記載例を参考に日本語で作成してください。
- 請願の場合は紹介議員の署名（または記名押印）を受けてください。
- 請願（陳情）はいつでも受け付けています。ただし、各定例会で審査するには、開会前に開催される議会運営委員会の7日前（土曜日及び日曜日を除く）までの提出が必要です。期限後は、次の定例会で審査することになりますのでご留意ください。

表紙	〇〇〇に関する請願（陳情） （請願のみ） 紹介議員氏名 （署名または記名押印）
本文	〇〇〇に関する請願（陳情） 1 請願（陳情）の趣旨 ・請願（陳情）事項 2 請願（陳情）の理由 提出日 令和〇〇年〇〇月〇〇日 請願（陳情）者住所 〇〇〇〇〇〇 請願（陳情）者氏名 （署名または記名押印） （※ 法人の場合は法人の名称及び所在地を記載し、代表者が署名または記名押印） 四街道市議会議長 〇〇 〇〇様

全国市議会議長会表彰

令和8年5月27日に開催された全国市議会議長会第102回定期総会において、4名の議員が表彰されました。

6月定例会最終日に議場にて表彰状の伝達式が行われました。

議員 25 年表彰



もりもと じろう 議員
森本 次郎 議員

議員 10 年表彰



あべ ゆりこ 議員
阿部 百合子 議員

議員 10 年表彰



おおこし とみこ 議員
大越 登美子 議員

議員 10 年表彰



さかもと こうき 議長
坂本 弘毅 議長

9月定例会は8月31日～9月29日(予定)

詳しくは二次元コードを読み取ってください。



会期日程

編集後記

6月定例会初日には、四街道ふるさとまつりを盛り上げるタイアップイベントとして市長をはじめとする執行部と議員、全員でチャリティTシャツを着用しました。今年も

盛大で安全な開催を願うばかりです。9月定例会では、決算審査が始まります。皆様の貴重な税金が適正に生かされるよう、厳しく精査いたします。

(飯豊 明久記)